

みどり小だより

《教育目標》

命を大切にする教育
わかるまで勉強する教育
新しい考えでつくりだす教育
みんなでやることを学ばせる教育

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/midori/> 令和6年9月30日 第7号

「困難を乗り越える力」について

校長 圓山 芳史

暑かった夏も終わり、季節は秋へと移りました。「秋の日は釣瓶落とし」の言葉どおり、これからはどんどん日没が早まり放課後の外遊びも時間が限られていきますが、子ども達には「スポーツの秋」や「芸術の秋」、そして「読書の秋」等々、この季節も存分に満喫してほしいと思います。

その「スポーツの秋」を地でいくように、涼しくなったグラウンドでは、休み時間の度にボールを追いかけサッカーを楽しむ子どもたちの元気な姿が見られます。放課後も、サッカー少年団の子ども達が練習に励む日には、一生懸命に駆け回る直向きな姿を校長室の窓から眺めるため、つつい仕事の手を止めてしまうことがしばしばあります。

私自身は若い頃から体を動かすことが億劫で、サッカーの競技経験等全くありませんが、観戦するのは楽しく、息子達が小学生だった頃は、しばしばコンサドーレの試合を観に札幌ドームや厚別競技場へも通ったものでした。当時のコンサドーレ札幌はJ1とJ2を行き来する状況ながら、天皇杯ベスト4やJ2優勝等、道民を存分に楽しませている活躍をしていました。記憶に残る試合もいくつかあり、チームの中心的な存在であった「曾田雄志」選手が、引退試合となる最後の試合で後半ロスタイムに得点を決めたシーンでは、地鳴りのような歓声の中、スタンドで胸を熱くしたことを憶えています。

その試合の数年後、私は幸運なことに、引退した曾田選手の話じっくりと聞く機会を得ました。私が勤務していた市内のある小学校に、曾田選手が子ども達を対象とした講演活動に来てくれることとなったのです。当日、私は駅から学校まで曾田選手を車に乗せ送迎しましたが、会話の中で私が一回り年長であることを知ると、後部座席からしきりに恐縮し謝意を示す等、人間的にも素晴らしい方だと感じました。

講話では、曾田選手が小学生時代からプロサッカ

ー選手になるまでの経験と、そこから学んだ様々な事柄が中心となりました。その中で、彼が子ども達に一生懸命伝えようとしてくれたことは「困難に挑戦していくことの大切さ」であったと思います。

曾田選手は小学4年生の時にサッカーを始め、その後Jリーガーまで上り詰めましたが、その過程ではなかなかレギュラーに定着することができず、サッカーをやめようと思うことさえあったそうです。それでも諦めずに競技者として挑み続けることができたのは、各段階でのコーチを始めとする周囲の人々の的確なサポートがあったからだそうです。そのサポートとは、曾田選手が困難に直面したときに本人に代わって問題を解決したり、取り除いたりするのではなく、「困難を自力で打ち破るチャンスを与えてくれた」ことだと話してくれました。サッカーの技術向上やチームメイトとの意思疎通改善等、様々な困難を自らの努力で乗り越える経験をする中で、次に新たな壁に対峙した時にも、それに立ち向かう勇気と力をもつことができたと感じられたそうです。こうした曾田選手の熱い語りかけは、子ども達だけでなく、一緒に聞いていた教職員の心にも響く内容となりました。

私達大人は、子ども達が課題を抱えそうになったときに、それを排除してあげようと努力しがちです。勿論、それぞれの個性やおかれた状況に応じて、必要な支援をしていくことは不可欠であり、それが大人の義務でもあります。しかしながら、先回りをしすぎて、単に問題解決の経験を奪うことになっては、子どもの成長の機会をも奪う結果になりかねません。日本がコロナ禍に入った頃に「レジリエンス教育」（困難や逆境に直面したときにそれを乗り越える力を養う教育）の重要性が改めて叫ばれるようになったのも、こうした点が再認識されたためなのかもしれません。

子ども達へ、どのタイミングでどんな支援をしてあげることがベストなのかを見極めることは難しい場合もありますが、学校とご家庭とで力を合わせながら、子ども達にとって最高の「サポーター」となることができるよう努めていきたいと思っています。

避難訓練・引渡し訓練実施

9月6日（金）の引渡し訓練に際しては御協力を賜りありがとうございました。実際に、引渡しを行うことで課題も見付かり、いざという時のために万全の体制を整えることができました。保護者の皆様には、駐車場の出入り等で御不便、御迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。

こころの授業がありました

鳥獣保護センターから講師を招き、4年生で心の授業を行いました。羽に傷を負った本物のフクロウを見ながらの話には、説得力があり、子どもたちは命の大切さについて考えを新たにすることができました。



体力づくりをすすめています

前期の反省を活かし、後期の体育では授業の前半に縄跳びを行うなど学校全体で体力づくりを推進しています。また、中庭にはフォームロケットを用意し、子供たちが進んで投げる運動に親しむ工夫もしています。



食に関する指導がありました

今年度は、1・3・5年生で食に関する指導を行っています。9月13日（金）は、1年生が指導を受け、どのように給食が作られているのか、どんな苦労があるのかについてモデル等で実際に体験しながら学習しました。給食を残さず食べる大切さについて考えることができました。



あゆみの評価について

今週配付されるあゆみの評価についてですが、各教科の観点や規準をホームページにアップしておりますので、参照ください。

なお、評価について、疑問や質問がある場合は、10月に行われる個別面談にて担任に確認をお願いいたします。



10月の主な行事

- | | |
|--|--------------------------------------|
| 1日（火）開校記念日 | 14日（月）スポーツの日 |
| 2日（水）修学旅行（6年）
前期あゆみ配付（1～5年）
特別4時間授業（1～3年）
特別5時間授業（4・5年） | 15日（火）英検 ESG（6年） |
| 3日（木）修学旅行（6年）
特別4時間授業（1～3年）
特別5時間授業（4・5年） | 16日（水）美術博物館学習（4年1・2組） |
| 4日（金）特別4時間授業（1～5年）
6年回復休 | 17日（木）就学時健診 給食なし
特別4時間授業 |
| 7日（月）前期あゆみ配付（6年）
薬物乱用防止教室（5年） | 21日（月）児童会任命式
個別面談① |
| 8日（火）読み聞かせ（中休み）
苫小牧港開発出前授業（4年） | 22日（火）特別5時間授業 個別面談② |
| 10日（木）児童会① 1年生4時間授業 | 23日（水）特別5時間授業 個別面談③
美術博物館学習（4年3組） |
| 11日（金）特別5時間授業 | 24日（木）特別5時間授業 個別面談④ |
| | 25日（金）特別5時間授業 個別面談⑤ |
| | 28日（月）特別4時間授業 個別面談⑥ |
| | 29日（火）特別4時間授業 個別面談⑦ |
| | 30日（水）特別5時間授業 |
| | 31日（木）特別5時間授業 個別面談⑧ |